

令和元年度第4回江別市スポーツ推進審議会開催結果

1. 開催日時

令和2年3月19日（木）午後3時30分～午後4時00分
江別市教育庁舎大会議室

2. 出席者

・スポーツ推進審議会委員：8名

金内晴夫会長、古川孝行委員、小林照美委員、千葉則理委員、原大輔委員、
山下和人委員、袴田丈晴委員、堀内真知子委員
(欠席：花井篤子副会長、竹内由紀子委員、立花宏美委員)

・教育委員会事務局：7名

萬教育部長、伊藤教育部次長、三浦スポーツ課長、遠藤スポーツ交流事業担当参事
桶川スポーツ係長、中島スポーツ交流事業担当主査、結城主事

3. 開催結果

(1) 開 会

委員の過半数の出席を確認し、スポーツ課長が開会を宣言。

(2) 教育部長あいさつ

萬教育部長からあいさつ

(3) 会長あいさつ

金内会長からあいさつ

(4) 報告事項

報告事項(1) はやぶさ運動広場移転に係る基本構想の策定について

- ・スポーツ課長から、資料に基づき報告した。

○事務局（スポーツ課長）：

報告事項(1) のはやぶさ運動広場移転に係る基本構想の策定について報告する。

基本構想の策定については、昨年10月23日に、教育委員会からスポーツ推進審議会に諮問され、以降、当審議会において、慎重にご審議いただき、1月15日に開催した前回審議会において基本構想の策定についての答申内容がまとまったことから、1月

21日に当審議会を代表して、金内会長と花井副会長から教育委員会に答申書のご提出をいただいたものである。

スポーツ推進審議会からの答申を受け、教育委員会で協議・審議を行い、本年1月28日に開催された定例教育委員会において、基本構想の策定について、教育委員会の承認を得た。このことについては、2月17日に開催された総務文教常任委員会にも報告しているところである。

基本構想の策定に当たり、委員の皆様にご多大なるご尽力をいただいたことに、改めてお礼を申し上げ、報告とさせていただきます。誠にありがとうございました。

報告は以上である。

(質疑等 → なし)

報告事項(2) 令和元年度スポーツ賞・スポーツ奨励賞・教育委員会賞について
・スポーツ係長から、資料に基づき報告した。

○事務局(スポーツ係長)：

報告事項(2) 令和元年度江別市青少年スポーツ賞、スポーツ奨励賞、及び教育委員会表彰について報告する。

これらの賞は、スポーツ大会において優秀な成績を収めた青少年を表彰するものである。選考基準であるが、スポーツ賞は、全国大会で3位以内、通算2年以上の入賞、全国記録の更新、スポーツ奨励賞は、全道規模の大会で優勝、全道記録の更新、教育委員会賞は、全道規模の大会等で2位又は3位という基準となっている。

贈呈式は、2月24日(月・振休)に、えぼあホールで開催予定だったが、新型コロナウイルス拡大防止のため、中止となった。なお、表彰式当日に贈呈予定であった表彰楯などについては、学校や各団体を通してお渡ししている。

それでは、資料2の1ページをお開き願いたい。青少年スポーツ賞の受賞者は、4個人である。

大麻高等学校2年生の田畑百葉さんがカーリング混合団体で国際大会に出場し、第2位、立命館慶祥高等学校2年生の井澤真さんが陸上競技の全国大会で第1位、大麻西小学校6年生の橋本旺典さんがボウリングの全国大会で第3位、江別太小学校1年生の高井ななみさんがトライアスロンの全国大会で第3位の成績を、それぞれ収められた。

資料2ページから5ページにかけては青少年スポーツ奨励賞の受賞者であるが、25個人、21団体、合計46件の受賞となっている。受賞者や成績などは記載のとおりである。

次に、資料6ページから8ページは、教育委員会賞(スポーツ部門)の受賞者であるが、22個人、11団体、合計33件の受賞となっている。受賞者や成績などは記載の

とおりである。

9 ページには、年度別受賞者数の推移をつけているが、本年度、各賞を合わせた受賞数は、83件となった。報告は以上である。

(質疑等 → なし)

報告事項(3) 令和2年度スポーツ関係予算(案)について

・スポーツ係長から、資料に基づき報告した。

○事務局(スポーツ係長)：

報告事項(3) 令和2年度スポーツ関係予算(案)について報告する。資料3をご観いただきたい。この資料では、令和2年度のスポーツ関係予算について、主だったところの予算について掲載している。前年度と変更のある事業や予算の増減が大きい事業について、説明する。なお、表紙には第6次江別市総合計画の施策体系のうちスポーツに関する取り組みの基本方針を抜粋して掲載している。

表紙をめくり、1ページの2行目、「体育施設整備更新事業」は、社会体育施設の安全確保と利便性向上のため施設を適正に維持する事業となっている。なお、令和2年度の備品整備については、体育協会の要望に基づきパワーリフティング競技のベンチプレスとスクワットラックの購入を予定している。

続いて2ページの1行目の江別市スポーツ協会補助金、2行目のスポーツ少年団補助金については、会員数や事業内容によって毎年変動するが、令和2年度のスポーツ協会への補助金は令和2年度に当市での全道大会が開催されないため、減額となっている。

3行目の「体育施設管理運営事業」については、市内4体育館、あけぼのパークゴルフ場、森林キャンプ場に関する指定管理料である。指定管理者は、市内4体育館は一般財団法人江別市スポーツ振興財団で、あけぼのパークゴルフ場と森林キャンプ場はいずれもエコ・グリーン事業協同組合である。令和元年10月に消費税率が10%となり、令和2年度は消費税率が通年化されることから、前年度と比較して増額となっている。

3ページの2行目、「スポーツ大会等振興補助事業」については、一般財団法人江別市スポーツ振興財団が実施する、原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会を開催する事業、トレーニングに関する相談や指導を行う事業、スポーツ指導者を養成する事業に対する補助である。令和2年度の当初予算の段階で原始林クロスカントリースキー大会の中止が決定したことなどに伴い、減額となっている。

5行目の「大麻体育館改修整備事業」は、電力会社から体育館に、高圧の電気を引き込むための、ケーブルや開閉器を、更新及び設置する工事を行うものである。

4ページの1行目、「はやぶさ運動広場移転事業」については、はやぶさ運動広場の移転先の測量委託などを行うものである。

2行目の「オリンピック・パラリンピック推進事業」は、江別市に縁のあるオリンピック・パラリンピアンを応援する看板の設置やパラリンピック採火式を実施するものである。

3行目の「特別支援学校フットサル大会開催支援事業」は、道内及び道外・海外の特別支援学校が参加するフットサル大会への支援を行うもので、4行目の「障がい者スポーツ大会開催事業」は、北海道障がい者スポーツ大会の開催に係る負担金を計上している。なお、両事業とも障がい者スポーツの認知度を高め障がいの有無に関わらず、あらゆる市民が多様なスポーツに取り組む意識の醸成を図ることを目的としている。

これらの予算については、3月の定例市議会の議決を経て、新年度予算として措置されるものである。

以上、令和2年度スポーツ関係予算（案）について報告したが、これらの事業は、「第6次江別市総合計画」や、「第6期江別市スポーツ推進計画」に基づき実施するものである。報告は以上である。

（質疑等）

○千葉委員：

2点質問がある。

まず1点目、江別市スポーツ協会補助金について、336,000円の大きな減額となっている。この補助金は効果的なスポーツの普及等に充てられていると考えているが、減額となることによって、大きな影響等はないのか。

2点目、学校体育施設開放事業について、本校の野幌中学校においても体育館を活用されており、少ない予算の中で開放事業を運営していると思うが、体育館を利用されていないことが何回か見受けられた。未活用の際の対応についてどのように考えているのか。

○事務局（スポーツ課長）：

まず1点目の江別市スポーツ協会補助金について、336,000円の減額となっているが、令和元年度は卓球・野球・水泳の全道大会にそれぞれ10万円ずつ補助金を出していたが、令和2年度は江別で開催されないことから、それに伴う減額となっている。事業自体の内容について大きな変更ない。これまで同様に市内のスポーツを推進するための補助金を支出していきたいと考えている。

2点目、学校体育施設開放事業における体育館の未活用の際の対応について、利用団体には体育館を利用されない場合は、必ず事前にスポーツ課に連絡をするように周知しており、空きができれば、他の団体に貸すことができる体制になっている。ただ、利用団体によってはキャンセルの連絡をせずに、体育館を利用されない団体があるので、今後は体育館を利用されない場合は、事前に連絡していただくよう周知の徹底を図る。

(5) その他

○事務局（スポーツ係長）：

次回の審議会の開催は、新年度の7月頃を予定している。会議の内容については、令和2年度のスポーツ関係事業の報告などの予定である。時期が来たら案内する。

○議長（金内会長）：

事務局から報告があったとおり、次回の審議会は7月頃ということで、それまでの間に委員から質問等があれば事務局に連絡願いたい。それでは、以上をもって令和元年度第4回江別市スポーツ推進審議会を閉会する。

(6) 閉 会

午後4時00分 終了